

AXIS C1310-E Mk II Network Horn Speaker

長距離でもクリアに音声を提供する、屋外用スピーカー

AXIS C1310-E Mk II Network Horn Speakerは、ほとんどの気象条件での屋外設置に最適です。これにより、ユーザーは遠隔操作で迷惑行為を防止したり、緊急時の指示を伝えたり、一般的な音声メッセージを作成したりすることができます。内蔵メモリーは事前に録音されたメッセージに対応しているほか、担当者がライブで話して通知に応答することができます。オープンスタンダードに基づいており、ネットワークビデオ、アクセスコントロール、分析、およびVoIP (SIPをサポート) と簡単に統合することができます。音声はデジタル信号処理 (DSP) により、クリアなサウンドを保証します。内蔵マイクロフォンにより、リモートヘルステストと双方向通信が可能になります。さらに、内蔵の音声管理ソフトウェアは、ユーザー、コンテンツ、ゾーン、スケジュールなどの管理に対応しています。

> オールインワン型スピーカーシステム

> 標準ネットワークへの接続

> PoEで設置が簡単

> リモートでのヘルステスト

> 拡張性が高く統合が容易



AXIS C1310-E Mk II Network Horn Speaker

システムオンチップ (SoC)	
モデル	i.MX 8M Nano
メモリー	1024 MB RAM、1024 MBフラッシュ
音声ハードウェア	
エンクロージャー	圧縮ドライバー付きリエントラントホーンスピーカー
最大音圧レベル	121 dB以上
周波数応答	280Hz~12.5kHz
カバー範囲パターン	水平70°、垂直100° (2 kHz時)
音声入力/出力	内蔵マイクroフォン (機械的に無効設定可) 内蔵スピーカー
内蔵マイクroフォンの仕様	50 Hz~12 kHz
デジタル信号処理	内蔵および事前設定済み
アンプの説明	内蔵7 WクラスDアンプ
音声管理	
AXIS Audio Manager Edge	内蔵機能: - 音楽およびライブ/事前録音されたアナウンスのコンテンツ管理。 - 特定のコンテンツをいつ、どこで再生するかを決定するスケジューリング。 - 緊急メッセージがスケジュールに割り込むようにするコンテンツの優先順位付け。 - 最大200台のスピーカーを20のゾーンに分割できるゾーン管理。 - システムエラーのリモート検知のためのヘルスマニタリング。 - どの機能にどのユーザーがアクセスできるかを制御するユーザー管理。 詳細については、別紙のデータシートを参照してください。
AXIS Audio Manager Pro	より大規模で高度なシステム向け。別売り。仕様については、別紙のデータシートを参照してください。
AXIS Audio Manager Center	AXIS Audio Manager Centerは、マルチサイトシステムのリモートアクセスと管理のためのクラウドサービスです。
音声ソフトウェア	
音声ストリーミング	オプションの半二重エコーキャンセルを使用した、単方向/双方向。モノラル
音声エンコーディング	AAC LC 8/16/32/48 kHz、G.711 PCM 8 kHz、G.726 ADPCM 8 kHz、Axis μ -law 16 kHz、WAV、MP3 (64 kbps~320 kbps、モノラル/ステレオ) 固定/可変ビットレート。 サンプリングレートは8 kHz~48 kHz。
ネットワーク	
ネットワークプロトコル	IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、HTTPS、 ^a 、HTTP/2、TLS ^a 、QoS Layer 3 DiffServ、FTP、SFTP、CIFS/SMB、SMTP、mDNS (Bonjour)、UPnP [*] 、SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS/DNSv6、DDNS、NTP、NTS、RTSP、RTP、SRTP/RTSPS、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、RTCP、ICMP、DHCPv4/v6、ARP、SSH、LLDP、CDP、MQTT v3.1.1、Secure syslog (RFC 3164/5424)、UDP/TCP/TLS)、リンクローカルアドレス (設定不要)、IEEE 802.1X (EAP-TLS)、IEEE 802.1AR
システムインテグレーション	
アプリケーションプログラミングインターフェース	VAPIX [®] 、メタデータ、AXIS Camera Application Platform (ACAP) など、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様については axis.com/developer-community を参照)。ACAP にはNative SDKが含まれます。 ワンクリッククラウド接続 Session Initiation Protocol (SIP) への対応によるVoice over IP (VoIP) システムとの統合、ピアツーピア、またはSIP/PBXとの統合。
ビデオ管理システム	AXIS Companion、AXIS Camera Station、Axisのアプリケーション開発パートナーが提供するビデオ管理ソフトウェア (axis.com/vms で入手可能) に対応

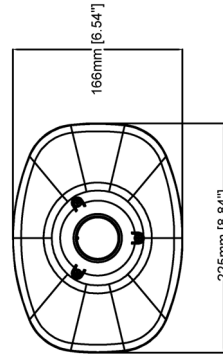
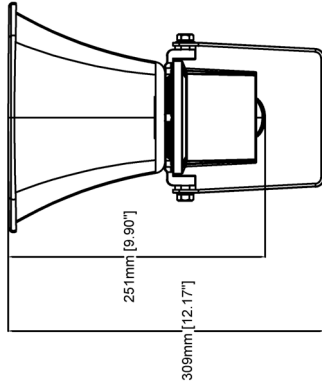
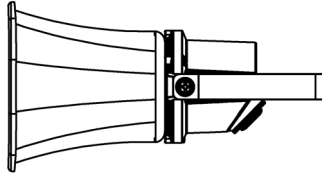
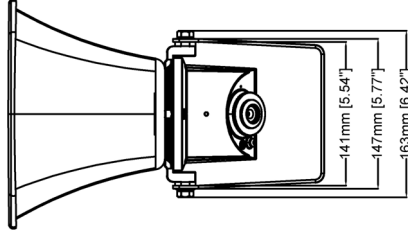
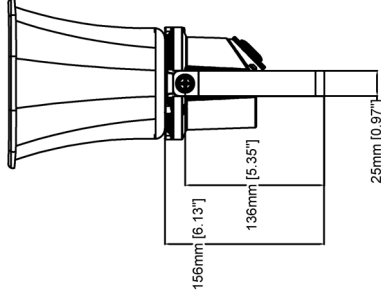
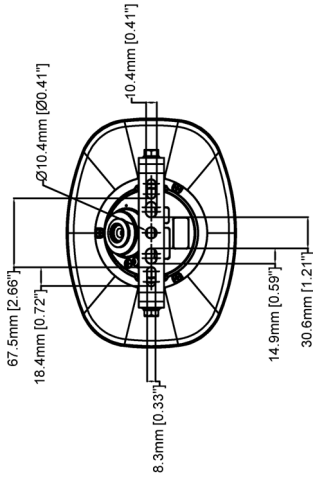
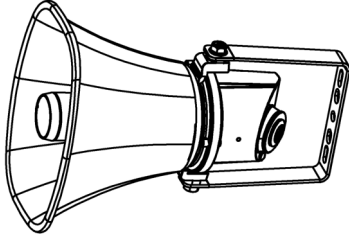
インテリジェント音声	オートスピーカーテスト
イベント条件	音声: 音声クリップ再生、スピーカーテスト結果装置のステータス: IPアドレスのブロック/削除、ライブストリームアクティブ、ネットワーク接続断絶、新しいIPアドレス、システムの準備完了 エッジストレージ: 録画中、ストレージの中断、ストレージの健全性に関する問題を検知 I/O: デジタル入力、手動トリガー、仮想入力 MQTT: サブスクライブ スケジュール、繰り返し: スケジュール
イベントアクション	音声: 自動スピーカーテストの実行 音声クリップ: 再生、停止 I/O: I/Oの切り替え ライトとサイレン: 実行、停止 MQTT: パブリッシュ 通知: HTTP、HTTPS、TCP、電子メール 録画: 音声の録音 SNMPトラップメッセージ: メッセージの送信 ステータスLED: 点滅
設置支援機能内蔵	テストトーンの検証と識別
機能モニタリング	オートスピーカーテスト、接続の確認、内蔵システムログ
認証規格	
製品のマーキング	CSA、UL/cUL、UKCA、CE、KC、EAC、VCCI、RCM
サブライチチャー	TAA準拠
EMC	EN 55035、EN 55032 Class B、EN 50121-4、EN 61000-6-1、EN 61000-6-2 オーストラリア/ニュージーランド: RCM AS/NZS CISPR 32 Class B カナダ: ICES-3(B)/NMB-3(B) 日本: VCCI Class B 韓国: KS C 9835、KS C 9832 Class B 米国: FCC Part 15 Subpart B Class B 鉄道: IEC 62236-4
安全性	CAN/CSA C22.2 No. 62368-1 ed. 3、IEC/EN/UL 62368-1 ed. 3
環境	IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、IEC/EN 60529 IP66、NEMA 250 Type 4X、MIL-STD-810G 509.5、MIL-STD-810H 509.7
サイバーセキュリティ	ETSI EN 303 645
サイバーセキュリティ	
エッジセキュリティ	ソフトウェア: 署名付きファームウェア、総当たり攻撃による遅延からの保護、ダイジェスト認証、パスワード保護 ハードウェア: Axis Edge Vaultサイバーセキュリティプラットフォーム セキュアエレメント (CC EAL 6+)、Axis装置ID、セキュアキーストア、セキュアブート
ネットワークセキュリティ	IEEE 802.1X (EAP-TLS) ^a 、IEEE 802.1AE (MACsec PSK/EAP-TLS)、IEEE 802.1AR、HTTPS/HSTS ^a 、TLS v1.2/v1.3 ^a 、Network Time Security (NTS)、X.509証明書PKI、ホストベースのファイアウォール
ドキュメント	AXIS OS強化ガイド Axis脆弱性管理ポリシー Axisセキュリティ開発モデル AXIS OSソフトウェア部品表 (SBOM) ドキュメントをダウンロードするには、 axis.com/support/cybersecurity/resources にアクセスしてください。 Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、 axis.com/cybersecurity にアクセスしてください
一般	
ケーシング	IP66およびNEMA 4X規格準拠 アルミニウム製バック缶とステンレススチール製ブラケット カラー: 白RAL 9010
電力	Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3af/802.3at Type 1 Class 3 通常2 W、最大12.95 W

コネクター	ネットワーク: RJ45 10BASE-T/100BASE-TX PoE I/O: 4ピン2.5 mmターミナルブロック (設定可能な状態監視I/O ×2用)
信頼性	24時間365日の常時動作向けに設計。
動作条件	温度: -40° C~60° C 湿度: 10~100% RH (結露可)
保管条件	温度: -40° C~65° C 湿度: 5~95% RH (結露不可)
寸法	製品全体の寸法については、このデータシートの寸法図を参照してください。
重量	1.3kg
パッケージ内容	ホーンスピーカー、インストールガイド、ターミナルブロックコネクター、コネクターガード、ケーブルガスケツト、リングターミナル、所有者認証キー
オプションアクセサリ	AXIS T91B47 Pole Mount、AXIS T91F67 Pole Mount、Cable Gland M20x1.5、RJ45、Cable Gland A M20、AXIS Power over Ethernet Midspans、T94R01B Corner Bracket、T94P01B Corner Bracket、T94S01P Conduit Back Box その他のアクセサリについては、 axis.com/products/axis-c1310-e-mk-ii#accessories にアクセスしてください。
言語	英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語(簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語(繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

保証	5年保証、 axis.com/warranty を参照
製品番号	axis.com/products/axis-c1310-e-mk-ii#part-numbers で入手可能
サステナビリティ	
物質管理	PVC不使用、EDEC/ECA標準JS709に準拠 RoHS、EU RoHS指令2011/65/EU/およびEN 63000:2018に準拠 REACH (EC) No 1907/2006に準拠。SCIP UUIDについては、 echa.europa.eu を参照
素材	OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み Axisの持続可能性の詳細については、 axis.com/about-axis/sustainability にアクセスしてください。
環境責任	axis.com/environmental-responsibility Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です (詳細については unglobalcompact.org を参照)

- a. 本製品には、*OpenSSL Toolkit*で使用するために*OpenSSL Project* (openssl.org) によって開発されたソフトウェアと*Eric Young* (eyay@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

寸法図面



AXIS C1310-E Mk II Network Horn Speaker

Revision	v.01	Revision date	2023-10-26
Paper size	A4	Release date	2023-10-26
Created by	MS	Scale	1:6

© 2023 Axis Communications

www.axis.com

主な機能とテクノロジー

Axis Edge Vault

Axis Edge Vaultは、Axisの装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームです。すべてのセキュアな運用が依存する基盤を形成し、装置のIDを保護して、工場からその完全性を保護し、不正アクセスから機密情報を保護する機能を提供します。

信頼元の確立は、装置の起動プロセスから始まります。Axisの装置では、ハードウェアベースのメカニズムである**セキュアブート**が、装置の起動元のオペレーティングシステム (AXIS OS) を検証します。その結果、AXIS OSはビルドプロセス中に暗号で署名され、**署名付きファームウェア**となります。セキュアブートと署名付きファームウェアの組み合わせにより、装置のライフサイクル中にファームウェアが改ざんされていないこと、装置が承認されたファームウェアからのみ起動することが保証されます。これにより、すべてのセキュアな動作が依存する信頼の連鎖として、暗号技術で検証されたソフトウェアの連鎖が形成されます。

セキュリティの観点から、**セキュアキーストア**は、セキュアな通信で使用される暗号情報 (IEEE 802.1X、HTTPS、AxisデバイスID、アクセスコントロールキーなど) を、セキュリティ侵害が発生した際に悪意のある抽出から保護するための重要な構成要素です。セキュアキーストアは、Common CriteriaやFIPS 140認証のハードウェアベースの暗号計算モジュールを通して提供されます。セキュリティ要件に応じて、Axisの装置は、TPM 2.0 (Trusted Platform Module) やセキュアエレメント、システムオンチップ (SoC) 内蔵のTrusted Execution Environment (TEE) などのモジュールを1つまたは複数搭載できます。

Axis Edge Vaultの詳細については、axis.com/solutions/edge-vault/にアクセスしてください。

詳細については、axis.com/glossary/を参照してください。